

# 平成 24 年度 日本心臓財団事業報告

## I. 個人研究に対する助成事業

個人研究に対する助成を次のとおり実施しました。

### 1. 平成 24 年度日本心臓財団研究奨励の実施

(別添奨励対象者一覧参照)

#### 1) 第 38 回日本心臓財団研究奨励

奨励金額：1 件 200 万円を 10 件

応募資格：1972 年 4 月 1 日以降に生まれた者

応募数：45 件

#### 2) 第 3 回日本心臓財団入澤宏・彩記念研究奨励

奨励金額：1 件 100 万円を 3 件

応募資格：基礎研究室に所属の 1972 年 4 月 1 日以降に生まれた者

応募数：第 38 回日本心臓財団研究奨励に含む

#### 3) 第 3 回日本心臓財団入澤宏・彩記念女性研究奨励

奨励金額：100 万円を 1 件

応募資格：女性で 1972 年 4 月 1 日以降に生まれた者

応募数：第 38 回日本心臓財団研究奨励に含む

#### 4) 第 10 回日本心臓財団若年研究者研究奨励 (藤基金)

奨励金額：1 件 50 万円を 4 件

応募資格：1982 年 4 月 1 日以降に生まれた者

応募数：7 件

#### 1) から 4) に共通

応募受付：平成 24 年 9 月 1 日～10 月 15 日

選考委員会：平成 25 年 1 月 9 日

決定通知：平成 25 年 2 月

贈呈：平成 25 年 3 月 17 日

選考委員	大 鈴 文 孝	東京都食品健康保険組合健康管理センター所長
	木 原 康 樹	広島大学大学院医歯薬学総合研究科循環器内科学教授
	小 西 真 人	東京医科大学細胞生理学教授
	重 松 宏	国際医療福祉大学山王メディカルセンター 血管病センター長
	杉 薫	東邦大学医療センター大橋病院循環器内科教授
	檜 垣 實 男	愛媛大学大学院医学系研究科病態情報内科学教授
	平 田 健 一	神戸大学大学院医学研究科循環器内科学教授
	真 鍋 一 郎	東京大学大学院医学系研究科循環器内科講師
	百 村 伸 一	自治医科大学附属さいたま医療センター 総合医学第一教授
	吉 村 道 博	東京慈恵会医科大学循環器内科学教授

### 2. 第 10 回日本心臓財団・アステラス・ファイザー動脈硬化 *Update* 研究助成の実施

(別添助成対象者一覧参照)

助成金額：200 万円を 1 件・100 万円を 2 件・30 万円を 2 件

応募資格：原則として日本国内の臨床教室およびそれに準ずる施設に所属の 1972 年 4 月 1 日以降に生まれた者

応募締切：平成 24 年 5 月 25 日

応募数 : 51 件

決定通知 : 平成 24 年 9 月

選考委員 横出正之 京都大学医学部附属病院探索医療臨床部教授  
秋下雅弘 東京大学大学院医学系研究科加齢医学准教授  
石橋俊 自治医科大学内分分泌代謝学教授  
上田真喜子 大阪市立大学大学院医学研究科病理病態学教授  
酒井寿郎 東京大学先端科学技術研究センター教授  
堀内久徳 東北大学加齢医学研究所基礎加齢研究分野教授  
山下静也 大阪大学医学部附属病院循環器内科病院教授  
横手幸太郎 千葉大学大学院医学研究院細胞治療内科学教授

### 3. 第 8 回日本心臓財団・ノバルティス循環器分子細胞研究助成

(別添助成対象者一覧参照)

助成金額 : 1 件 100 万円を 10 件

応募資格 : 原則として臨床系教室およびそれに準ずる施設に所属の応募時 40 歳未満の者

応募受付 : 平成 23 年 12 月 1 日～平成 24 年 1 月 31 日

応募数 : 53 件

選考委員会 : 平成 24 年 3 月 17 日

決定通知 : 平成 24 年 4 月

選考委員 伊藤宏 秋田大学医学部循環器内科学教授  
北風政史 国立循環器病研究センター心臓血管内科部門部長  
倉林正彦 群馬大学大学院医学系研究科臓器病態内科学教授  
小室一成 大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学教授  
斎藤能彦 奈良県立医科大学第一内科学教授  
砂川賢二 九州大学大学院医学研究院循環器内科学教授  
筒井裕之 北海道大学大学院医学研究科循環病態内科学教授  
永井良三 東京大学大学院医学系研究科循環器内科学教授  
室原豊明 名古屋大学大学院医学系研究科器官制御内科学教授  
森下竜一 大阪大学大学院医学系研究科臨床遺伝子治療学教授

### 4. 第 1 回日本心臓財団・日循協・アストラゼネカ臨床疫学研究助成

(別添助成対象者一覧参照)

助成金額 : 1 件最大 500 万円で数件 総額 1,500 万円

対象分野 : 循環器疾患に対する一次～三次予防(発症予防、重症化予防、再発防止)のいずれかを目的とした臨床疫学研究

応募資格 : 医師・保健師・看護師・管理栄養士・栄養士・薬剤師等医療関係者で日本国内での研究に携わるわが国に在住する 40 歳未満の者

応募受付 : 平成 24 年 2 月 1 日～3 月 10 日

応募数 : 18 件

選考委員会 : 平成 24 年 4 月 5 日

決定通知 : 平成 24 年 4 月

贈呈 : 平成 24 年 6 月 15 日

選考委員 和泉徹 北里大学医学部循環器内科学教授  
上嶋健治 京都大学大学院医学研究科 EBM 研究センター教授  
岡山明 公益財団法人結核予防会第一健康相談所所長  
中村好一 自治医科大学公衆衛生学教授  
山崎力 東京大学医学部附属病院臨床研究支援センター教授

## II. 研究者の留学費用に対する助成事業

日本から海外の研究機関に留学、研修、また海外から日本への留学等に対し、次のとおり助成しました。

### 1. 第26回日本心臓財団・バイエル薬品海外留学助成の実施（別添助成対象者一覧参照）

循環器疾患の研究に携わるわが国の研究者が海外の研究機関に留学するため助成  
助成金額：1件300万円を標準とし、原則として10件

応募資格：1973年4月1日以降に生まれた者

応募受付：平成24年10月1日～11月30日

応募数：52件

選考委員会：平成25年1月29日

決定通知：平成25年2月

贈呈：平成25年3月17日

選考委員	堀 正 二	大阪府立成人病センター総長
	和 泉 徹	恒仁会新潟南病院顧問
	小 川 聡	国際医療福祉大学三田病院院長
	田 林 暁 一	東北厚生年金病院院長
	松 岡 博 昭	宇都宮中央病院院長

### 2. 東京海上日動火災保険(株)による海外研究者研修助成の実施

A S E A N諸国等の循環器の研究者に対する助成

#### 1) 第77回日本循環器学会学術集会における第11回国際留学生 Young Investigator's Award 優秀賞10万円

受賞者：Chang-ning Hao（名古屋大学大学院医学系研究科循環器内科：中国）

Haiying Jiang（名古屋大学大学院医学系研究科老年科：中国）

### 3. 第6回日本心臓財団 Cardiac Rhythm Management 短期海外研修助成

不整脈および心不全等の植込み型デバイス療法に焦点をあてた治療に携わる医療関係者が、欧州の基幹施設にて、電気生理学および関連分野において最先端の循環器臨床治療を経験することを目的とした1週間の短期海外研修助成（別添助成対象者一覧参照）

助成内容：研修先までの渡航費および滞在費

助成件数：6件

研修先：イタリア Ospedale Cisanello / Spedali Civili

研修期間：平成24年9月16日～23日

応募資格：1967年4月2日以降、1977年4月1日以前に生まれた者

応募締切：平成24年3月31日

応募数：25件

選考：平成24年4月

決定通知：平成24年5月

選考委員	相 澤 義 房	立川メディカルセンター研究開発部長
	大 江 透	心臓病センター榊原病院研究部長
	下 村 克 朗	大阪回生病院顧問
	中 田 八洲郎	前湘南東部総合病院院長

### Ⅲ. 学会および研究会に対する助成事業

#### 1. 公募助成

学会等開催にあたり次のとおり助成しました。

審査委員	小川 聡	国際医療福祉大学三田病院院長
	北村 惣一郎	国立循環器病研究センター名誉総長
	児玉 逸雄	名古屋大学名誉教授
	永井 良三	自治医科大学学長
	矢崎 義雄	国際医療福祉大学総長
	山口 徹	国家公務員共済組合連合会虎の門病院院長
	横出 正之	京都大学医学部附属病院探索医療臨床部教授

#### 1) PCI Technical Education Course

平成 24 年 4 月 21 日～22 日 神奈川・メディカルプラネックス

平成 24 年 11 月 10 日～11 日 神戸医療機器開発センター

世話人 村松俊哉（済生会横浜市東部病院循環器科部長）

#### 2) 第 18 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会

平成 24 年 7 月 14 日～15 日 大宮ソニックシティ

会長 百村伸一（自治医科大学附属さいたま医療センター総合医学第一教授）

#### 3) TOPIC 2012

平成 24 年 7 月 26 日～28 日 東京・セルリアンタワー東急ホテル

世話人 落合正彦（昭和大学横浜市北部病院心臓血管カテーテル室教授）

#### 4) 第 8 回田原・アショフシンポジウム

平成 24 年 8 月 29 日～31 日 ミュンヘン・ヒルトンホテル

日本側代表 須磨幸蔵（東京女子医科大学名誉教授）

#### 5) 第 19 回肺塞栓症研究会学術集会

平成 24 年 11 月 24 日 ホテルイースト 21

代表世話人 中野 赳（三重大学名誉教授）

#### 6) 特発性心室細動研究会

平成 25 年 2 月 16 日 東京・大手町サンケイプラザ

代表幹事 青沼和隆（筑波大学大学院人間総合科学研究科内科学教授）

#### 2. 指定助成・共催

##### 1) 第 34 回美甘レクチャー（日本循環器学会特別招待講演）

平成 25 年 3 月 16 日、第 77 回日本循環器学会学術集会（会長：水野杏一日本医科大学教授）にて

講師：Roberto Bolli（University of Louisville 米国）

##### 2) 第 25 回日本循環器病予防セミナー

平成 24 年 8 月 1 日～5 日 大阪大学銀杏会館

実行委員長 磯 博康（大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学教授）

#### IV. 共同臨床研究等に対する助成事業

研究組織を設けて行う研究に対して次のとおり助成しました。

審査委員会 平成 23 年 5 月 22 日および 11 月 27 日

審査委員 伊藤 正治 日本医学ジャーナリスト協会名誉会長  
大宮 杜喜子 日経ラジオ社情報制作局チーフプロデューサー  
北村 惣一郎 国立循環器病研究センター名誉総長  
児玉 逸雄 名古屋大学名誉教授  
杉本 恒明 公立学校共済組合関東中央病院名誉院長  
日高 進 日本心臓ペースメーカー友の会副会長  
矢崎 義雄 国際医療福祉大学総長  
山口 徹 国家公務員共済組合連合会虎の門病院院長  
横出 正之 京都大学医学部附属病院探索医療臨床部教授

##### 1. 虚血性心疾患に関する研究

###### 1) 名古屋急性心筋梗塞研究-1 (NAMIS)

代表 室原豊明 (名古屋大学大学院医学系研究科器官制御内科学教授)

###### 2) 薬剤溶出ステント (Drug Eluting Stent) を用いた冠動脈形成術後の心血管イベント抑制に関する研究-アンジオテンシン II 受容体拮抗薬によるイベント抑制効果- (4C)

代表 小川久雄 (熊本大学大学院医学薬学研究部循環器病態学教授)

###### 3) 慢性完全閉塞病変に対する経皮的冠動脈インターベンション治療の前向きレジストリー (J-CTO-CONQUEST Trial)

代表 光藤和明 (倉敷中央病院循環器内科主任部長)

###### 4) 冠攣縮性狭心症患者に関する後ろ向き全国調査

幹事 下川宏明 (東北大学大学院医学系研究科循環器内科学教授)

###### 5) 職域コホートによる動脈硬化性疾患の原因解明と予防に関する研究 (OCCUPATION)

代表 北風政史 (国立循環器病研究センター心臓血管内科部門部長)

###### 6) IB-IVUS 研究

代表 藤原久義 (兵庫県立尼崎病院院長)

###### 7) 動脈硬化性疾患早期発見のための核医学的診断技術の確立とそれらの標準化

代表 福島和人 (国立循環器病研究センター放射線診療部)

##### 2. 虚血性心疾患と脂質低下療法に関する研究

###### 1) 脂質異常症患者に対する Pitavastatin および EPA を用いた MDCT による冠動脈石灰化指標変化に関する多施設共同試験 (PEACH trial)

代表 伊藤 浩 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科循環器内科学教授)

###### 2) 積極的脂質低下療法による不安定プラークの検討 (ALTAIR 研究)

代表 齋藤 穎 (敬愛病院理事長)

###### 3) スタチン治療による頸動脈内膜中膜複合体 (IMT) 退縮効果の評価 (JART)

代表 野原隆司 (北野病院副院長)

- 4) 家族性高コレステロール血症に対する脂質低下療法の有効性及び安全性に関する調査 (FAME 研究)  
代表 山下静也 (大阪大学医学部附属病院循環器内科病院教授)
3. 突然死に関する研究  
本年度は該当する助成金支出なし。
4. 心房細動に関する研究
  - 1) NIPPON storm  
代表 相澤義房 (立川メディカルセンター研究開発部長)
  - 2) 心房細動例における心原性塞栓症予防のためのワルファリン療法の実態と至適PT-INR治療域の確立に関する多施設共同試験 (J-RHYTHM Registry)  
代表 井上 博 (富山大学大学院医学薬学研究部内科学第二教授)
  - 3) オフポンプ冠状動脈バイパス術周術期におけるランジオロール塩酸塩の心房細動発生抑制に関する臨床試験 (JL-KNIGHT study II)  
代表 坂本篤裕 (日本医科大学大学院疼痛制御麻酔科学教授)
5. 慢性心不全に関する研究
  - 1) 慢性心不全治療確立のための大規模臨床試験に関する研究 (J-CHF)  
代表 堀 正二 (大阪府立成人病センター総長)
  - 2) 費用対効果からみた拡張期心不全の治療戦略の検討 (J-DHF)  
代表 堀 正二 (大阪府立成人病センター総長)
  - 3) 拡張機能低下型心不全に対するニフェジピン CR の有効性の検討 (DEMAND)  
代表 筒井裕之 (北海道大学大学院医学研究科循環病態内科学教授)
  - 4) うっ血性心不全の体液貯留に対するトルバプタンとカルペリチドとの無作為比較試験  
代表 鈴木 聡 (福島県立医科大学循環器・血液内科)
  - 5) 慢性心不全に対する和温療法  
代表 鄭 忠和 (和温療法研究所所長)
  - 6) 難治性の心不全患者に対するトルバプタン継続投与の QOL に対する有用性を検討する探索的ランダム化、非盲検、並行群間比較試験 (AQUA-TLV)  
代表 絹川弘一郎 (東京大学大学院医学系研究科重症心不全治療開発講座特任准教授)
6. 急性心不全に関する研究
  - 1) ATTEND Registry  
代表 高野照夫 (日本医科大学常任理事)
7. 弁膜症に関する研究  
本年度は該当する助成金支出なし。

8. 高血圧に関する研究

- 1) 2型糖尿病併発高血圧患者におけるロサルタンカリウム/HCTZ と ARB 高用量の有  
用性に関する比較研究 (SIMPL II)

代表 堀 正二 (大阪府立成人病センター総長)

- 2) 北海道における ARB/利尿薬合剤の降圧と心腎保護効果の検討 (H-LIFE)

代表 筒井裕之 (北海道大学大学院医学研究科循環病態内科学教授)

- 3) Eplerenone and Aliskiren Research Targeting at Hypertensive patients with left  
ventricular hypertrophy (EARTH study)

代表 室原豊明 (名古屋大学大学院医学系研究科器官制御内科学教授)

9. 肺高血圧に関する研究

- 1) 肺高血圧患者に関する後向き大規模実態調査

代表 下川宏明 (東北大学大学院医学系研究科循環器病態学教授)

10. 糖尿病と心血管病に関する研究

- 1) インスリン抵抗性改善による心筋梗塞再発予防に関する大規模薬剤介入試験  
(PPAR Study)

代表 北風政史 (国立循環器病研究センター心臓血管内科部門部長)

- 2) 2型糖尿病患者におけるアスピリンの動脈硬化性疾患一次予防に関する研究 2  
(JPAD2)

代表 斎藤能彦 (奈良県立医科大学第一内科学教授)

11. 睡眠呼吸障害と心血管病に関する研究

- 1) 睡眠呼吸障害と心血管系疾患の関連性を調べるための本邦における多施設前向き研  
究 (SCCS-1)

代表 井上雄一 (東京医科大学睡眠学教授)

12. 血栓症・塞栓症に関する研究

本年度は該当する助成金支出なし。

13. 心臓外科治療に関する研究

本年度は該当する助成金支出なし。

V. 指定研究等の実施・助成事業

1. 生活習慣病改善プログラム

昨年発表した生活習慣病治療の実態に関する臨床疫学研究で使用したプログラムソ  
フトを医師・医療従事者を対象とした医師と患者の生活習慣病治療コミュニケーシ  
ョンツールソフトとして無料配布。

2. 予防医学のための携帯型心電計普及活動

予防医学のための携帯型心電計普及事業 研究助成継続 (3年目)

## VI. 個人または団体に対する褒賞事業

### 1. 第 38 回日本心臓財団佐藤賞の贈呈

平成 25 年 3 月 16 日、第 77 回日本循環器学会学術集会（会長：水野杏一日本医科大学教授）にて贈呈

受賞者：桑原宏一郎（京都大学大学院医学研究科内分泌代謝内科）

研究主題：心血管ホルモンの発現調節及び作用機構の解明に基づく心血管病新規治療標的の探索

### 2. 第 1 回「心臓」賞の贈呈

平成 25 年 3 月 16 日、第 77 回日本循環器学会学術集会（会長：水野杏一日本医科大学教授）にて贈呈

受賞者：最優秀賞 山本昌良（筑波大学大学院人間総合科学研究科疾患制御医学専攻循環器内科）

優 秀 賞 棗田 誠（手稲溪仁会病院心臓血管センター循環器内科）

〃 松添弘樹（加古川東市民病院循環器内科）

### 2. 第 37 回日本心臓財団草野賞の贈呈

平成 25 年 3 月 21 日、第 38 回日本脳卒中学会総会（会長：片山泰朗日本医科大学教授）にて贈呈

受賞者：七田 崇（慶應義塾大学医学部微生物学免疫学教室）

研究主題：虚血後炎症：ペルオキシレドキシシンファミリーのタンパク質は脳における虚血後炎症の主要な開始因子である

### 3. 第 27 回日本心臓財団予防賞

平成 24 年 6 月 15 日、第 48 回日本循環器病予防学会・日本循環器管理研究協議会総会（会長：久代登志男日本大学教授）にて贈呈

受賞者：児玉和紀（公益財団法人放射線影響研究所主席研究員）

研究課題：広島・長崎における循環器疾患疫学研究ならびに NI-HON-SAN 研究と日本循環器病予防セミナーにおける若手研究者育成の推進

### 4. 第 8 回日本心臓財団小林太刀夫賞

平成 24 年 6 月 15 日、第 48 回日本循環器病予防学会・日本循環器管理研究協議会総会（会長：久代登志男日本大学教授）にて贈呈

受賞者：茨城県立健康プラザ保健施策支援ツール開発普及事業グループ

研究課題：大規模コホート研究に基づいた保健施策支援ツールの開発と普及への取り組み

### 5. 第 17 回日本心電学会学術奨励賞

平成 24 年 10 月 13 日、第 29 回日本心電学会学術集会（会長：中谷晴昭千葉大学教授）にて贈呈

受賞者：最優秀賞 吉田雅昭（山口大学大学院医学系研究科器官病態内科学）

〃 木村紘美（滋賀医科大学呼吸循環器内科）

優 秀 賞 杉山洋樹（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科循環器内科）

〃 成瀬代士久（筑波大学大学院人間総合科学研究科疾患制御医学専攻循環器内科）

## VII. 広報啓発事業

### 1. インターネット「心臓財団のホームページ」関連啓発活動



医師・研究者向けには研究助成の募集案内を中心に医学関連情報を、一般向けには講演会・健康イベントの案内をはじめ心臓血管病に関する正しい知識の普及を提供しています。またセカンドオピニオンのページを設け、主治医以外の医師の意見を聞き、納得して治療を受けたいという方のために心臓血管病の患者やその家族の質問を受け、答えています。

今年度は、日本循環器学会 AED 検討委員会との共同による「AED の設置基準に関する提言」や「子どもの心筋症」に関する解説などを掲載しました。

ホームページアドレスは、<http://www.jhf.or.jp/>

## 2. 日本循環器学会との協力事業

市民公開講座の開催

第 77 回日本循環器学会学術集会との共催事業

期 日：平成 25 年 3 月 17 日

場 所：パシフィコ横浜会議センター メインホール

主 題：知って得する生活習慣病対策のコツ

## 3. 日本循環器管理研究協議会との協力事業

生活習慣病予防講演会の開催

期 日：平成 24 年 6 月 16 日

場 所：東京・日本大学会館講堂

主 題：いつまでも元気であるために

## 4. 市民公開講座の共催および後援

・第 5 回呉市民ハートフォーラム

主 題：心臓病からあなたと家族を守るために～メタボ撃退～

期 日：平成 24 年 5 月 19 日

場 所：広島・呉市民会館

・第 27 回日本不整脈学会学術大会

主 題：AED で命を救おう！

期 日：平成 24 年 7 月 8 日

場 所：横浜・そごう横浜店

・第 35 回日本高血圧学会総会市民公開講座

主 題：高血圧治療の理想像を求めて

期 日：平成 24 年 9 月 22 日

場 所：名古屋能楽堂

・第 5 回心臓病市民公開講座 in 福山

期 日：平成 23 年 10 月 21 日

場 所：広島・ふくやま芸術文化ホール

・日本心不全学会・「特発性心筋症に関する調査研究」班による市民公開講座

主 題：心不全ってどんな病気？心不全を知る、防ぐ、治す！

期 日：平成 25 年 2 月 17 日

場 所：東京医科歯科大学 鈴木章夫記念講堂

## 5. 予防啓発小冊子の発行

健康ハート叢書

タイトル：胸骨圧迫と AED を学ぼう

監 修：石見 拓（京都大学環境安全保健機構附属健康科学センター）

体 裁：B6 判 8 頁

## 6. 「健康ハートの日」活動

### 1) 健康ハートの日

8月10日がハートと読み取れることからこの日を「健康ハートの日」と定め、心臓血管病の予防活動を行いました。

#### ①キャンペーン

・8月5日 ハートの日・健康フェア

東京・新宿高島屋 1階特設会場にて血圧・動脈硬化度・体脂肪の測定、心電図検査と健康・栄養相談

・8月10日 ハートの日・豊橋・名古屋・岐阜

講演会、血圧・体脂肪の測定、血液・心電図検査、心臓病・歯周病・食事・栄養相談、運動指導、救急蘇生法の講習

②「8月10日は健康ハートの日」ポスター10,000部製作、医療施設を中心に配布

## 7. 禁煙推進活動

### 1) たばこと健康問題NGO協議会による世界禁煙デー記念シンポジウムの開催

「たばこのない社会」の実現を目指し、6団体で構成するたばこと健康問題NGO協議会活動を行いました。

世界禁煙デー記念シンポジウムの開催

厚生労働省、日本医師会、日本歯科医師会、日本薬剤師会、日本看護協会と当財団が加盟するたばこと健康問題NGO協議会（がん研究振興財団、結核予防会、健康・体力づくり事業財団、日本公衆衛生協会、日本対がん協会）、「喫煙と健康」WHO指定研究協力センターの共催で開催されました。

期 日：平成24年6月2日

場 所：東京・津田ホール

主 題：命を守る政策を！

### 2) 禁煙推進ネットワークを中心に活動

## 8. AED・心肺蘇生普及活動

・PUSHプロジェクト（AEDおよび胸骨圧迫のみの心肺蘇生法の普及啓発活動）の推進：第4回全国でPUSH（8月5日）開催、一般の方々に講習参加を呼びかけるメッセージビデオのテレビCM（CS・BS放送）での放映

・愛知ハンズオンリー心肺蘇生普及事業の助成（愛知県下の高校30校に出張講習）

・AEDを使用した心肺蘇生法普及500人講習会（神戸市、9月2日）後援

AEDおよび胸骨圧迫のみの心肺蘇生法の普及啓発活動

## 9. 日本心臓財団メディアワークショップの開催

メディアに心臓血管病に関する最新的话题を提供し、そのメディアから一般市民に対して正しい情報を伝えてもらうためのメディアワークショップを開催しました。

第16回

期 日：平成25年2月22日

場 所：東京・三菱ビル コンファレンススクエア

テーマ：突然死や寝たきりを防ぐために・・・

～最新の動脈硬化性疾患予防ガイドラインから～

## 10. 患者団体・予防活動団体への協力

日本心臓ペースメーカー友の会、全国心臓病の子どもを守る会、川崎病の子供をもつ親の会等事業への協力。

11. 日本川崎病研究センター事業への協力
12. トーアエイヨー(株)によるラジオ NIKKEI「心臓財団虚血性心疾患セミナー」  
細田瑳一顧問を企画委員長に企画委員会を組織
13. 月刊誌「心臓」の発行  
山口徹常任理事を編集委員長に編集委員会を組織  
日本循環器学会との共同発行で投稿論文を中心に医師向け雑誌を発行しました。  
第44巻 第4号、5号、6号、7号、8号、9号、10号、11号、12号  
第45巻 第1号、2号、3号
14. 機関紙の発行  
心臓財団季報として年4回発行いたしました。  
207号(6月10日)、208号(9月10日)、209号(12月10日)、  
210号(3月10日)

平成 24 年度日本心臓財団研究奨励  
対象研究者

第 38 回日本心臓財団研究奨励

(五十音順・奨励金額は各 200 万円)

番号	氏 名	所 属	研 究 課 題
1	神 吉 康 晴 (33 歳)	東京大学先端科学技術研究 センターシステム生物医学 特任研究員	冠動脈血管内皮細胞における接着因 子 VCAM-1 誘導機構解析
2	田 村 雄 一 (33 歳)	慶應義塾大学医学部 循環器内科 助教	新規バイオマーカー：ペントラキシ ン 3 を用いた肺高血圧症の早期発見
3	祢 津 智 久 (33 歳)	広島大学病院脳神経内科 医科診療医	脳細小血管障害における血管内皮機 能と血液バイオマーカーに関する研 究
4	廣 野 恵 一 (39 歳)	富山大学附属病院 小児科 助教	患者 iPS 細胞由来の心筋細胞を用い た心筋緻密化障害の病態解明
5	藤 田 恵 (39 歳)	東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科分子循環代謝 病学 特任助教	高血圧における脳内アルドステロ ン・ミネラルコルチコイド受容体の 交感神経亢進機序
6	南 丈 也 (34 歳)	京都大学大学院医学研究科 内分泌代謝内科 客員研究員	Rho 依存性転写共役因子 MRTF-A の 病的血管リモデリングにおける意義 の解明
7	村 岡 直 人 (31 歳)	慶應義塾大学医学部 循環器内科 助教	直接心筋誘導を改善するマイクロ RNA の同定及びその分子基盤の解 明
8	山 本 英 一 郎 (39 歳)	熊本大学医学部附属病院 循環器内科 助教	肺動脈性肺高血圧症における eNOS アンカッピングの関与機序の基礎 ならびに臨床的検討
9	若 林 公 平 (39 歳)	昭和大学藤が丘病院 循環器内科 助教	Biolimus A9 Eluting Stent 留置後の 冠動脈への副作用 —血管内エコー を用いた検討—
10	渡 邊 裕 介 (36 歳)	東北大学加齢医学研究所 神経機能情報分野 助教	二次心臓形成領域発生のイメージ ングによる心臓流出路形成における細 胞動態の解明

### 第3回日本心臓財団入澤宏・彩記念研究奨励

(五十音順・奨励金額は各 100 万円)

番号	氏名	所属	研究課題
1	板倉陽子 (32歳)	東京都健康長寿医療センター 研究所老年病研究チーム血管 医学 研究員	細胞移植療法を目指した糖鎖プロ ファイルによる高齢者由来心筋細胞の 特性解析
2	金山朱里 (39歳)	昭和大学医学部生化学 講師	活性酸素誘導性分子 Hic-5 の機能解 析による新規大動脈瘤治療標的分子 の確立
3	戦冬雲 (35歳)	国立循環器病研究センター 研究所 流動研究員	生理活性ペプチドを用いた心筋症に 対する新しい治療法の開発

### 第3回日本心臓財団入澤宏・彩記念女性研究奨励

(奨励金額は 100 万円)

番号	氏名	所属	研究課題
1	吉田陽子 (31歳)	千葉大学大学院医学研究院 循環器内科学 大学院生	老化シグナルにより制御される糖尿 病と心不全の共通基盤病態の解明

### 第10回日本心臓財団若年研究者研究奨励 (藤基金)

(五十音順・奨励金額は各 50 万円)

番号	氏名	所属	研究課題
1	馬詰智子 (30歳)	千葉大学医学部附属病院 循環器内科 後期臨床研修医	肥大型心筋症における心エコースト レイン、MRI、CT を組み合わせた新 しい予後層別化
2	唐澤直義 (28歳)	自治医科大学分子病態治療 研究センター バイオイメージング研究部 研究員	カスパーゼ 1 ホモログを用いたイン フラマソーム制御による新規動脈硬 化抑制法の開発
3	楠本大 (30歳)	慶應義塾大学医学部 循環器内科 大学院生・助教	疾患特異的 iPS 細胞を用いた抗動脈 硬化機構の解明と新規治療法の開発
4	前田和宏 (29歳)	東京女子医科大学大学院 大学院生	甲状腺ホルモンの心臓血管系におけ る役割

第10回日本心臓財団・アステラス・ファイザー  
「動脈硬化Update」研究助成対象研究者

(順不同・助成金額単位：万円)

番号	氏名	所属	研究課題	金額
1	なかつか あつこ 中司 敦子 (38歳)	岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 腎・免疫・内分泌代謝内科学 客員研究員	Vaspin による動脈硬化抑制とその作用機序の解明	200
2	ふじょう かつひと 藤生 克仁 (38歳)	東京大学医学部附属病院 循環器内科 特任助教	心血管・腎・脳連関による心血管恒常性維持機構とその破綻としての動脈硬化進展・不安定化の検討	100
3	ますだ だいさく 増田 大作 (37歳)	大阪大学大学院 医学系研究科 循環器内科学 特任研究員	カイクロミクロンレムナントを定量的に評価する血清アポリポ蛋白B-48濃度測定系の開発とその臨床的有用性の包括的解析	100
4	いまいずみ さとし 今泉 聡 (37歳)	福岡大学医学部 分子循環器病治療学 助教	新規アポA-I 模倣ペプチド「FAMP」による新たな動脈硬化診断・治療法の確立	30
5	よしだ ようこ 吉田 陽子 (31歳)	千葉大学大学院医学研究院 循環病態医科学 大学院生	血管の老化におけるNotchシグナルの役割の解明と動脈硬化性疾患に対する新規治療法の開発	30

第8回日本心臓財団・ノバルティス  
循環器分子細胞研究助成対象研究者

(五十音順・助成金額は各 100 万円)

番号	氏名	所属	研究課題
1	ありた よう 有田 陽 (36歳)	大阪大学大学院医学系研究科 循環器内科学 大学院生	Angiopoietin-1による冠血管形成の制御機構
2	いさくし かずま 冢串 和真 (37歳)	大阪大学大学院医学系研究科 臨床遺伝子治療学 特任助教	急性心筋梗塞に対する骨髄単核球細胞治療における心臓でのマイクロRNA発現調整機構
3	おおた つぐひと 太田 嗣人 (39歳)	金沢大学大学院医学系研究科 恒常性制御学 助教	新規ケモカインシステムによるインスリン抵抗性の制御機構解明
4	かわむら てるひさ 川村 晃久 (39歳)	京都大学学際融合教育研究 推進センター生命科学系 キャリアパス形成ユニット 特定助教	増殖因子シグナルを制御する人工受容体を用いた経済的かつ効率的な心筋再生療法の確立
5	こいたばし のりみち 小板橋 紀通 (39歳)	群馬大学医学部附属病院 循環器内科 助教	病的な心臓リモデリングにおける細胞特異的TGFβシグナリングの役割の解明
6	ささき なおと 佐々木 直人 (37歳)	神戸大学医学部附属病院 循環器内科 特定助教	動脈硬化抑制における制御性T細胞の分子機序の解明と新規動脈硬化治療法の開発
7	たうら だいすけ 田浦 大輔 (37歳)	京都大学大学院医学研究科 内分泌代謝内科 特任研究員	ヒトiPS細胞を用いた血管細胞分化過程の解析および動脈硬化病態解明への応用
8	ひがしくに やすとみ 東邦 康智 (34歳)	東京大学大学院医学系研究科 循環器内科 助教	心肥大の病態生理におけるNLRP3インフラマソームの役割及びその活性化機序の解明
9	まつばら じゅんいち 松原 純一 (34歳)	熊本大学生命科学研究部 循環器病態学 循環器臨床研究寄附講座 特任助教	ジペプチジルペプチダーゼ-4阻害剤の心血管系疾患への作用機序の解明と臨床効果の検討
10	ゆあさ しんすけ 湯浅 慎介 (37歳)	慶應義塾大学医学部 循環器内科 特任講師	ヒトiPS細胞を用いた致命的循環器疾患の病態解明と治療方法の開発

第1回日本心臓財団・日循協・アストラゼネカ  
臨床疫学研究助成対象研究者

(五十音順・助成金額単位：万円)

番号	氏名	所属	研究課題	金額
1	あさい たかえ 浅井 貴絵 (38歳)	駿河台日本大学病院 循環器科 研究医員	上腕収縮期血圧左右差と血管 内皮機能、動脈硬化、冠動脈 虚血の関係	80
2	おだ のぼる 小田 登 (38歳)	広島大学病院 循環器内科 助教	植え込み型デバイス使用患者 の遠隔モニタリングを用いた 心不全再入院予防手段の探求	300
3	かとう なおこ 加藤 尚子 (32歳)	東京大学大学院 医学系研究科循環器内科学 日本学術振興会特別研究員	慢性心不全増悪予防を目指し た質の高い治療・ケアの均て ん化のための <b>Quality Indicator</b> の開発	500
4	かみやけんたろう 神谷健太郎 (32歳)	北里大学病院 心臓リハビリテーション室 理学療法士	下肢筋力の健康度は高齢循環 器疾患患者の生命予後並びに 機能予後を予測する	500



第26回日本心臓財団・バイエル薬品  
海外留学助成対象研究者

(五十音順・助成金額は各 300 万円)

番号	氏名	所属	研究課題	留学先
1	江頭 裕介 (35歳)	岐阜大学大学院 医学系研究科 脳神経外科学 特任講師	出血性脳卒中に対する発症 早期の脳損傷メカニズムの 解明と新規治療ターゲット の検索	ミシガン大学 (米国)
2	岡 史朗 (34歳)	山口大学医学部 脳神経外科 医員	くも膜下出血後遅発性脳虚 血における皮質拡散抑制の 関連・病態および制御に関す る研究	ハーバード大学 (米国)
3	齊藤 寿郎 (34歳)	九州大学病院 ARO 次世代医療センター 学術研究員	ミトコンドリアを標的とし た心不全および老化の病態 解明と新規治療法の開発	ニュージャージ ー州立医科歯科 大学 (米国)
4	篠崎 広一郎 (35歳)	千葉大学大学院 医学研究院 救急集中治療医学 医局員	心原性心停止蘇生後動物モ デルの脳および全身の生体 反応とその制御に関する研 究	ペンシルバニア 大学 (米国)
5	二村 圭祐 (34歳)	大阪大学医学系 研究科遺伝子治療学 助教	転写異常による先天性心疾 患発症メカニズムのシステ ムバイオロジーによる解明	アメリカ国立衛 生研究所 (米国)
6	原 梓 (32歳)	国立がん研究センタ ー ガン研究特別研究員	個別化医療へ向けた薬剤疫 学の共同研究	ルーヴェン・カ トリック大学 (ベルギー)
7	古庄 優子 (38歳)	鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 感染防御学講座免疫 学分野	新規大動脈瘤薬物治療法の 開発と分子イメージング	スタンフォード 大学 (米国)
8	穆 勝宇 (31歳)	東京大学先端科学 技術研究センター 臨床エピジェネティ クス講座 特任助教	食塩感受性高血圧における 交感神経の役割	アーカンサス大 学 (米国)
9	堀 大治郎 (31歳)	自治医科大学附属さ いたま医療センター 心臓血管外科 臨床助教	大動脈瘤治療における TGF β と PPAR γ の関連につい て	ジョンズ・ホプ キンス大学 (米国)
10	宮部 千恵 (33歳)	東京医科大学 皮膚科 大学院生	血管炎モデルマウスを用い た冠動脈炎における脂質メ ディエーターを介した発症 機序の解明と新規治療法開 発	ハーバード大学 マサチューセッ ツ総合病院 (米国)

第6回日本心臓財団 Cardiac Rhythm Management  
短期海外研修助成対象研究者

(五十音順・敬称略)

番号	氏名	年齢	所属・職名
1	おだ のぼる 小田 登	38	広島大学大学院医歯薬学総合研究科 病態情報医科学（循環器病態内科学）病院助教
2	ささき しんご 佐々木真吾	42	弘前大学大学院医学研究科 循環器呼吸器腎臓内科学准教授
3	たかすぎ のぶひろ 高杉 信寛	36	岐阜大学医学部附属病院第二内科医員
4	ふくもと こうたろう 福本耕太郎	36	慶應義塾大学医学部循環器内科助教
5	ほさか ゆきお 保坂 幸男	41	新潟市民病院循環器内科副部長
6	まつもと かつみ 松本 克己	41	横浜市立大学附属病院循環器内科助教